

2023年4月19日

報道関係者各位

お部屋さがしは
いい部屋ネット

いい部屋ネット 街の住みこちランキング2022<総評レポート②> 結婚していると、子どもがいると幸福度が高くなる

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員:竹内啓)は、過去最大級の居住満足度調査「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2022」を総括する<総評レポート>をまとめました。

本調査は、全国1,888市区町村に居住する20歳以上の男女646,245名を対象に居住満足度を調査し、2022年5月発表の「首都圏版」を皮切りに、約1年にわたって全国各地のランキングを発表してきました。

本レポートでは、社会的関心が高まっている、結婚していること、子どもがいることと、主観的幸福度の関係について分析しています。

街の住みこちランキング2022<総評レポート②>の主なポイント

1. 男女ともに結婚していると、子どもがいると幸福度が高くなる

幸福度の平均値を比較すると男女ともに、全年齢で結婚しているほうが、子どもがいるほうが幸福度が高くなっています。最も幸福度が高いのは結婚していて子どもがいる20歳から39歳の女性で幸福度は7.34(1が最低、10が最高の10段階)、最も幸福度が低いのは未婚で子どもがいない40歳から59歳の男性で幸福度は5.16となっています。

2. 結婚の影響は男性の方が強いが、60歳以上の男性では子どもの影響がほぼ無くなる

幸福度の平均値を比較するのではなく、年齢や年収、労働時間、地域への満足度、自己認知といった個人属性を考慮すると(回帰分析によって変数統制すると)、結婚していることの幸福度への影響は、男性の方が女性よりも強いことがわかりました。子どもがいることの幸福度への影響は、男性の場合は60歳まではあまり低下せず、女性の場合は20-39歳以上で最も高く、徐々に低下し、60歳以上では男性・女性ともにほぼ影響がなくなります。孫がいることについては、20-39歳の女性を除いて、男女とも影響があるようです。

3. 世帯の収入や資産が多く、地域への満足度や建物への満足度が高いと幸福度が高くなる

平均値では60歳上の幸福度が高くなっていますが、変数を統制すると高齢者の幸福度が高い要因は、年齢が高いからではなく若年層に比べて金融資産が多いこと、家を所有することで地域への満足度と建物への満足度が高まることが背景にあると考えられます。

<<詳細データについて>>

本調査は4回目となります。詳細につきましては、「住みこちランキング」WEBサイト(<https://www.eheya.net/sumicoco/>)または大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト(<https://www.kentaku.co.jp/miraiken/>)をご参照ください。なお、各自自治体には詳細データの提供が可能です。ご希望の場合は、本リリース4ページ目記載の問い合わせ先までお問い合わせください。

主観的幸福度の男女・年齢・未既婚・子どもの有無による違い

- 全国471,695名の回答を対象に、男女・年齢別・未既婚・子どもの有無毎に「主観的幸福度」の平均値を集計しました(表1、図1)。最も幸福度が高いのは結婚していて子どもがいる20歳から39歳の女性で幸福度は7.34、最も幸福度が低いのは未婚で子どもがいない40歳から59歳の男性で幸福度は5.16となっています。
- 全体との差を調べたところ、結婚している方が、子どもがいた方が幸福度が高い傾向が見られました。男女については年齢別にみても、女性の方が幸福度が高いと言えます。
- 男女ともに40-59歳の幸福度が前後の年齢よりも低くなるバスタブ状になっています。

表1 男女・年齢別・未既婚・子ども有無別の主観幸福度

		男性			女性		
		20-39歳	40-59歳	60-75歳	20-39歳	40-59歳	60-75歳
全体		6.41	6.21	6.83	6.82	6.59	7.04
未婚	子どもなし	5.77	5.16	5.67	6.18	5.75	6.31
	子どもあり	6.39	5.53	5.99	6.36	6.21	6.74
既婚	子どもなし	7.02	6.58	6.85	7.27	6.81	7.03
	子どもあり	7.11	6.77	7.10	7.34	6.94	7.23
全体との差		-	-	-	-	-	-
未婚	子どもなし	-0.64	-1.05	-1.15	-0.64	-0.83	-0.72
	子どもあり	-0.03	-0.69	-0.84	-0.46	-0.37	-0.30
既婚	子どもなし	0.61	0.37	0.02	0.45	0.22	-0.01
	子どもあり	0.70	0.56	0.27	0.52	0.35	0.20

N=471,695

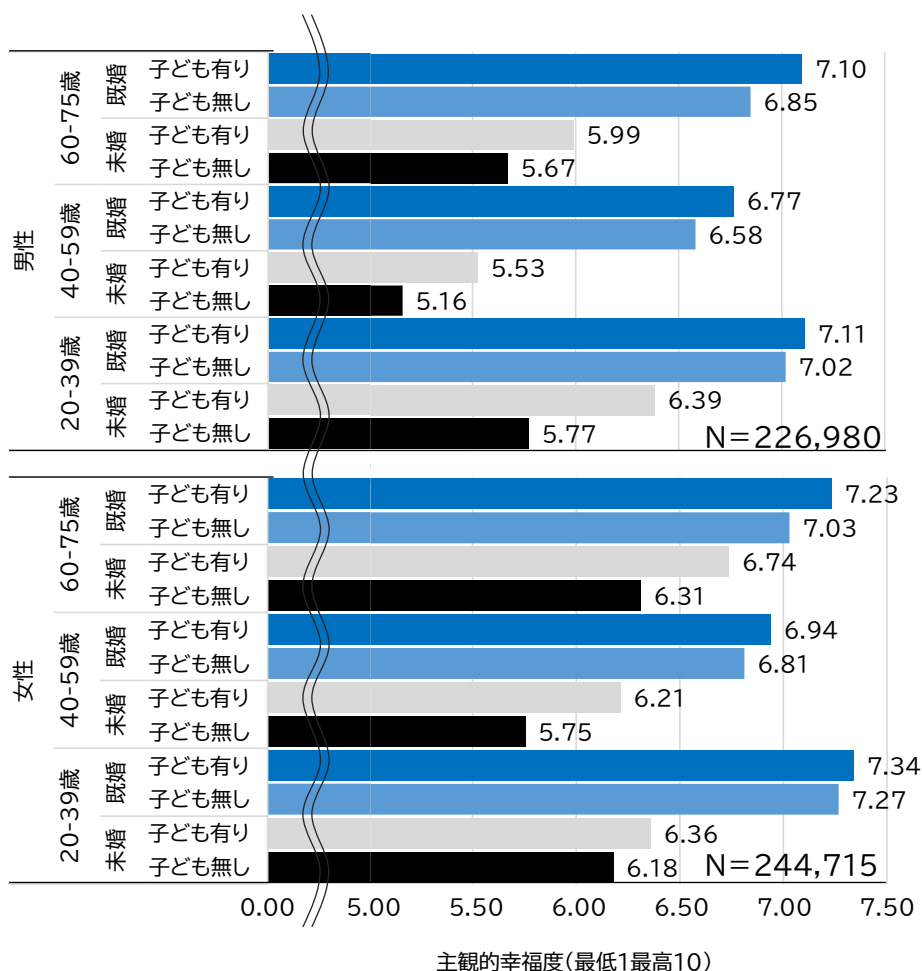


図1 男女・年齢別・未既婚・子ども有無別の主観幸福度

性別・年齢別に層別化した主観的幸福度を目的変数とした回帰分析の結果

- 主観的幸福度は40-59歳を底とするバスタブ状になっていますが、年齢の回帰係数を見ると60歳までは年齢による違いはあまりありませんが、60歳を超えると幸福度が高まるようです。(表2-①)。
- 女性は男性よりも幸福度が高く、さらに男女とも結婚している、子どもがいる、孫がいると幸福度が高くなるようです。特に男性の結婚による幸福度への影響は大きいといえそうです(表2-②)。
- 世帯年収の影響は1199万円までは上昇し、1200万円以上ではその影響は緩やかになり、世帯金融資産の影響は2000万円を境に緩やかになるようです(表2-③)。
- 共働き世帯は、共働きでない世帯よりも比較的幸福度が小さくなる傾向があるようです(表2-④)。
- 持ち家の幸福度への影響は比較的小さく、地域・建物への満足度は幸福度への影響が比較的大きくなっています(表2-⑤)。
- 自己認知(個人の性格)が幸福度に与える影響は比較的大きいという結果になっています(表2-⑥)。

表2 性別・年齢別に層別化した主観的幸福度を目的変数とした回帰分析の結果

変数	モデル		全データ								
			男性						女性		
			20-39歳	40-59歳	60-75歳	20-39歳	40-59歳	60-75歳			
サンプルサイズ			314,753	33,281	82,610	37,421	81,006	66,117	14,318		
自由度修正済み決定係数			0.442	0.391	0.453	0.430	0.426	0.462	0.431		
変数	データ個数/ 平均	構成比/ 標準偏差	主観的 幸福度	回帰係数	回帰係数	回帰係数	回帰係数	回帰係数	回帰係数	回帰係数	
① 目的変数 主観的幸福度	471,695	2.09	6.58	6.41	6.21	6.83	6.82	6.59	7.04		
年齢				baseline	baseline	-	-	baseline	-	-	
20歳代	67,877	14.4%	6.72	-0.20	-0.36	-	-	-0.18	-	-	
30歳代	107,006	22.7%	6.69	-0.26	-	-	-	-	-	-	
40歳代	117,823	25.0%	6.39	-0.23	0.05	-	-	-	0.03	-	
50歳代	105,330	22.3%	6.37	-0.08	-	baseline	-	-	-	baseline	
60歳代	57,535	12.2%	6.81	-0.01	-	-	baseline	-	-	baseline	
70歳代	16,124	3.4%	7.13	-0.01	-	-	0.03	-	-	0.02	
性別				baseline	-	-	-	-	-	-	
男性	226,980	48.1%	6.40	0.23	-	-	-	-	-	-	
女性	244,715	51.9%	6.74	-	-	-	-	-	-	-	
未婚				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
既婚				0.58	0.78	0.67	0.53	0.63	0.43	0.26	
子ども				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
なし	202,169	42.9%	6.13	0.15	0.12	0.10	0.03	0.18	0.10	-0.03	
あり	269,526	57.1%	6.92	-	-	-	-	-	-	-	
孫				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
なし	417,833	88.6%	6.52	0.11	0.29	0.16	0.09	-0.05	0.11	0.21	
あり	53,862	11.4%	7.00	-	-	-	-	-	-	-	
世帯年収				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
400万円未満	148,183	31.4%	6.02	0.11	0.18	0.09	0.08	0.14	0.11	0.04	
400万円以上800万円未満	187,335	39.7%	6.73	0.21	0.29	0.19	0.14	0.25	0.20	0.10	
800万円以上1200万円未満	105,270	22.3%	7.19	0.24	0.30	0.23	0.14	0.26	0.25	0.11	
1200万円以上	23,665	5.0%	7.36	0.04	0.12	0.06	-0.08	0.00	0.08	-0.18	
世帯金融資産				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
なし	136,682	29.0%	6.09	0.14	0.17	0.17	0.09	0.13	0.12	0.06	
1万円以上100万円未満	2,304	0.5%	6.06	0.18	0.23	0.21	0.14	0.13	0.20	0.12	
100万円以上500万円未満	29,765	6.3%	6.60	0.22	0.22	0.26	0.21	0.17	0.21	0.13	
500万円以上1000万円未満	28,350	6.0%	6.89	0.25	0.27	0.27	0.28	0.16	0.25	0.19	
1000万円以上2000万円未満	25,100	5.3%	6.92	0.20	0.20	0.28	0.29	0.09	0.21	0.22	
2000万円以上5000万円未満	15,390	3.3%	7.02	-	-	-	-	-	-	-	
5000万円以上	7,109	1.5%	7.18	-	-	-	-	-	-	-	
共働き				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
共働きでない	301,538	63.9%	6.34	-0.08	-0.14	-0.05	-0.01	-0.11	-0.10	-0.01	
共働き	170,157	36.1%	7.00	-	-	-	-	-	-	-	
学歴				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
高卒未満	264,730	56.1%	6.40	0.08	0.13	0.10	0.03	0.07	0.03	0.02	
大卒以上	206,965	43.9%	6.81	-	-	-	-	-	-	-	
住居				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
持ち家以外	238,727	50.6%	6.29	0.09	0.11	0.09	0.19	0.03	0.07	0.14	
持ち家	232,968	49.4%	6.88	-	-	-	-	-	-	-	
通勤時間				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
90分未満	461,125	97.8%	6.58	-0.06	-0.12	-0.06	-0.05	-0.07	-0.02	0.28	
90分以上	10,570	2.2%	6.37	-	-	-	-	-	-	-	
週労働時間				baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	baseline	
60時間未満	399,634	84.7%	6.57	0.08	-0.02	-0.14	0.13	0.12	0.03	0.18	
60時間以上	72,061	15.3%	6.60	-	-	-	-	-	-	-	
地域評価				0.22	0.22	0.24	0.22	0.20	0.21	0.20	
建物評価				0.31	0.29	0.32	0.39	0.26	0.34	0.33	
自己認知				-0.09	-0.07	-0.08	-0.10	-0.09	-0.10	-0.09	
私生活より仕事を優先する	-0.48	1.09		0.10	0.11	0.10	0.14	0.09	0.09	0.16	
健康には自信がある	-0.04	1.11		0.49	0.43	0.47	0.41	0.51	0.54	0.48	
未来は明るい	-0.15	1.10		0.38	0.29	0.36	0.39	0.36	0.45	0.45	
家族関係は良好だ	0.69	1.09		0.26	0.30	0.33	0.21	0.23	0.26	0.20	
仕事は順調だ	0.08	1.07		-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.03	-0.03	-0.04	
収入に大変満足	-0.52	1.32		0.04	0.10	0.04	0.02	0.04	0.01	-0.03	
社会的地位に大変満足	-1.40	1.01		0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.03	0.04	
下流だと思う	-0.79	1.21		0.02	0.04	0.02	0.00	0.01	0.01	-0.00	
社会的地位等劣等感を感じる	-0.89	1.17									
定数項				5.42	5.53	5.10	5.31	5.70	5.50	5.70	

p値0.05以上

補足) 回帰分析による変数統制をすることによって、目的変数(ここでは主観的幸福度)に対して、複数の説明変数が影響を与えている場合に、ある説明変数の影響を除いた上で、他の説明変数の影響を評価できます。例えば、未婚について、未婚を基準(baseline)とした場合、既婚は0.58と正の値になっていることから、既婚の方が未婚であることに比べて主観的幸福度にプラスに働いている、と解釈することができます。

調査概要

- ◇調査方法 株式会社マクロミルの登録モニタに対してインターネット経由で調査票を配布・回収。
- ◇回答者 全国47都道府県居住の20歳以上の男女、2020～2022年の3年分の回答者合計471,695名を対象に集計。
[男女比] 男性48.1%:女性51.9%
[未既婚] 未婚36.7%:既婚63.3% [子ども] なし 42.9%:あり 57.1%
[世代比] 20-39歳:37.1%、40-59歳:47.3%、60歳以上:15.6%
- ◇調査期間 2022年3月8日(火)～3月29日(火):2022年調査(回答者数:156,923名)
2021年3月17日(水)～3月30日(火):2021年調査(回答者数:157,830名)
2020年3月17日(火)～4月3日(金):2020年調査(回答者数:156,942名)
- ◇調査体制 調査企画・設問設計・分析:大東建託賃貸未来研究所 宗健(フェロー)
調査票配布回収:株式会社マクロミル
- ◇回答方法 住みこちランキングは、現在居住している街についての「全体としての現在の地域の評価(大変満足:100点、満足:75点、どちらでもない:50点、不満:25点、大変不満:0点)」の平均値から作成。
街の幸福度ランキングは、非常に幸福だと思う場合を10点、非常に不幸だと思う場合を1点とする10段階の回答の平均を、100点満点にするため10倍して平均値でランキングを作成。

■ 解説者プロフィール

宗健(そう たけし)



麗澤大学教授 博士(社会工学・筑波大学) ITストラテジスト

大東建託株式会社 賃貸未来研究所・AI-DXラボ フェロー

1965年北九州市生まれ。1987年九州工業大学工学部卒業、株式会社リクルート入社。

通信事業部、求人系インターネットサービス企画マネジャー、ForRent.Jp編集長、ISIZE住宅情報編集長、R25式モバイル編集長などを経て、2006年株式会社リクルートフォレントインシユア代表取締役社長。2012年リクルート住まい研究所長、2018年7月大東建託株式会社賃貸未来研究所長、2020年4月AI-DXラボ所長(兼担)、2021年4月麗澤大学客員教授を経て、2023年4月より麗澤大学教授、大東建託株式会社賃貸未来研究所・AI-DXラボフェロー。

- ・ 本リリースの一部または全部を、個人的な利用を目的とする印字・保存等、その他著作権法で認められる場合を除き、著作物等を著作権者等の事前の許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトに掲載するなどの行為を禁止します。
- ・ 新聞・雑誌、テレビ・ラジオ等の報道関係者におかれましては、本リリースを掲載・報道または引用する場合には、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2022<総評レポート②>」と出所の表記をお願いします。
- ・ 報道関係者向けに、本リリースの集計項目のほかに個別集計結果を提供できる可能性がありますので、個別にお問い合わせください。
- ・ 本調査の対象となった自治体には、詳細データを提供可能ですので、個別にお問い合わせください。
- ・ 学術研究目的の場合、本調査個票データについて提供できる可能性がありますので個別にお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ】

大東建託株式会社 賃貸未来研究所

TEL | 03-6718-9340 / メール | mirai-ken@kentakaku.co.jp